

普及活動情勢報告

(各月の普及の動き毎月 25 日までに報告)

普及活動情勢報告 (平成 25 年 9 月分)

中央東農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

J A 土佐香美果樹部露地みかん部会が獣害対策のモデル園に電気牧柵を設置



メーカーの説明を熱心に聞く参加者

8 月 28 日、農業改良普及課は、J A 土佐香美果樹部露地みかん部会を対象に、獣害対策モデル園として北部支部の西川集落に電気牧柵を設置しました。

モデル園の設置には、生産者、メーカー、関係機関の 15 名が参加しました。

まず、メーカーから電気牧柵の設置方法について説明を受けた後、参加者全員で設置しました。

設置後には、ほ場全体を見て周り、注意事項や管理のポイントを学びました。

参加者からは、「思っていたよりも設置が簡単だった」「説明を聞き、実際に設置したことでポイントがわかった」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、モデル園の途中経過や最終結果を生産者に情報提供する予定です。

集落営農組織の現地交流会を開催 (第 1 回集落営農組織研修会)



現地で集落の活動事例を紹介

8 月 29 日、農業改良普及課は、管内の集落営農組織を対象に、運営改善のための研修及び交流の場として現地交流会を開催し、関係機関を含め 26 名が参加しました。

現地研修として 2 組織と 1 集落の活動事例を紹介し、その後、参加者間で意見交換を行いました。

参加者からは、「地域は違っても後継者不足と高齢化が共通の課題。」「農地の利用調整や中山間直払の活動内容が参考になった。」との意見が多くありました。

農業改良普及課は、集落営農組織が継続・発展して活動していけるように、今後も年 2 回程度の合同研修の機会を設けていく予定です。

施設野菜の環境制御に関する研修会の開催



高橋チーフの説明を聞く参加者

9月3日、JA南国市本所で南国市営農改善会野菜花き部会が「施設野菜の環境制御に関する研修会」を開催し、農家16名、関係機関23名が参加しました。

振興センターは事務局として企画・運営を行いました。

産地・流通支援課より植物生理を活かす環境制御について、農業技術センターよりオランダ GREENQ 社が指導している環境制御技術の説明を受けました。

参加者からは「秀品率は高くなるのか。」「現段階では県内慣行とオランダ型の温度管理どちらを採用すればよいのか。今すぐオランダ型の温度管理ができるのか。」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後実証ほでの現地検討会などにより、環境制御技術について生産者へ情報提供していきます。

ニラの新技术について検討しました



遮光資材被覆ほ場での検討

9月3,5,6,11日の4日間、JA土佐香美ニラ部会の現地検討会が香南市野市町で開催されました。

生産者69名が参加し、低コスト肥料、品種比較、遮光資材など新たな栽培技術について検討しました。

農業改良普及課は、各試験結果をもとに品種特性や各資材の効果について報告しました。

参加者からは、「肥料試験で葉色の違いが確認できた。」「コストも低減できるので導入したい。」といった声がありました。

農業改良普及課は、引き続き調査研究を行い新技術の導入を支援していきます。